



# 談話会つうしん

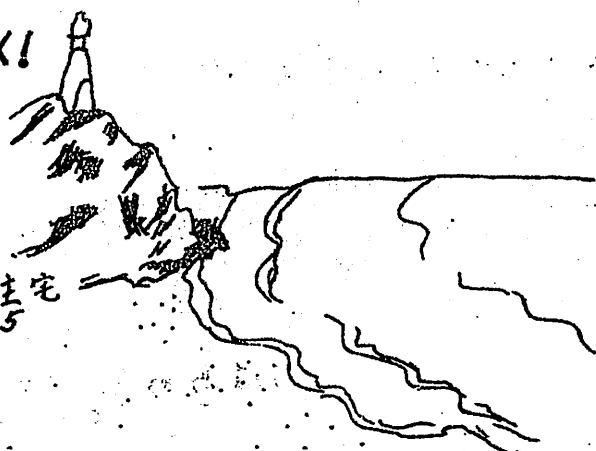
## 東京蜘蛛談話会 No.51

「汐越や鶴腰ぬれて海涼し」芭蕉  
 今年のように夏の暑さが厳しいと鶴のように海や川の水に  
 足をつけてクモの観察をしたいものです。  
 ススキの葉などにトリノフングマシを見ることのできる季  
 節にばりよした。 お便りお待ちしております。

### 🕸️ 新入会員 ようく!

村田慎一  
 〒226 横浜市緑区奇山町 149

高野ツヤ子  
 〒191 日野市夕摩平公園住宅 148-5



### 🕸️ 住所変更

石野田辰天 〒883 日向市賤光寺 6265  
 日向高等学校

小林健一 〒228 相模原市相模大野 2-1-3  
 第2相馬荘 1-2

船栗茂代 〒259-01 中郡二宮町百合ヶ丘 3-8-528

松浦祐司 〒167 杉並区荻窪 3-7-6-207

### 採集・観察会のお知らせ くわしくは通信 1150 御覽 Fさい。

日・時 10月13日(日) AM 10:00  
 集合場所 国鉄大磯駅 雨天決行

お問い合わせは TEL 0465(82) 4466 池田博明まで



## 孤独なクモのお話し

# はえ・蚊を退治するなど 自立たぬところで活躍

自然環境調査の一環として、専門の調査員がクモ類の生息状況調査を行っています。しかし、広い区内をくまなく調査することは大変難しいことです。そこで、アンケート調査を行い調査を一層充実させたいと思いますのでぜひご協力ください。

### 一風変わった姿や形で嫌われものに

クモは、私たちのまわりに極めて多く住んでいます。しかし、そのほとんどは全く相手にされないか、嫌われものとして扱われています。その理由として次の3点が挙げられるようです。まず第一に、人間に役立たない。第二に、人に興味を抱かせない。第三に、いたるところに住んでおりやたらと網を張りめぐらし、姿・形がうす気味悪い。

ところが、この嫌われもののクモも、私たちに不快感を与えるはえ、蚊、ゴキブリなどを退治してくれます。もし、クモがいなくなったら私たちのまちは、このような昆虫がまたたく間に増えてしまうでしょう。

### 農薬替りに一役買うクモたち

現在、農業関係者の間では、農薬を使わずに害虫を退治する方法の一つとしてクモの研究が進められているほどです。このように、クモは、私たちの目の届かないところで大いに役立っています。

### 居候するクモなど生活の仕方もさまざま

クモ類の特徴は、頭胸部（頭部と胸部の融合したもの）と腹部の2つの部分よりなっています。頭胸部には、4対の歩脚と肢の変化した触肢があります。眼は単眼で通常（ほと

んどの種類）は8個もっています。腹部には、生きていくために最も大切な器官で、糸を出す糸いぼがあります。

クモの生活状況も様々です。地中に住むもの、網を張るもの（円網、皿網、糊網、糸網、不規則網、天幕網）、水中に住むもの、樹上に住むもの、網を張らず徘徊するもの、他のクモの網に居候生活するものなどがいます。この中で、最も目につくクモといえば、やはり網を張るクモです。

### ひときわ美しい円網

#### 縦糸と横糸の織りなすあざやかさ

また、網の中でも一番きれいに見えるのは、やはり円網でしょう。円網は、中心から引かれた放射状の縦糸と、それを横切つてうず巻き状に引かれた横糸、さらに、これらを支える枠糸からなります。横糸には粘球と呼ばれる粘液が付着しており、クモは、これを用いて餌となる昆虫などの小動物を捕まえます。縦糸と枠糸には粘球はついていません。

クモがいつもいる中心部を“こしき”といいますが、この部分も粘球はありません。クモの中には、網の中心部付近に食べもののかすやゴミ・ぬけがらを集めその中に潜みカモフラージュするものもいます。また、帯状の白い糸（かくれ帯）を直線状、X字状、うず巻き状につけている種類もいます。



黒灰褐色で大型なおニグモ

このクモは、家の軒先や庭木の間長径1m程の円網を張ります。体長18~30mmの黒灰褐色の大型のクモです。このクモは、夕方になると網を張り、朝方(夜明頃)には網をたたんでしまいますが、時々、昼間でも網をたたまずにいるクモも見かけます。30歳以上の方であれば、子供のころ針金の枠にこのクモの網を張りつけ、チョウ、トンボやセミなどを捕った覚えがあることでしょう。しかし、今では、このような遊びをする子供をほとんど見かけなくなりました。

虎模様のきれいなナガコガネグモ

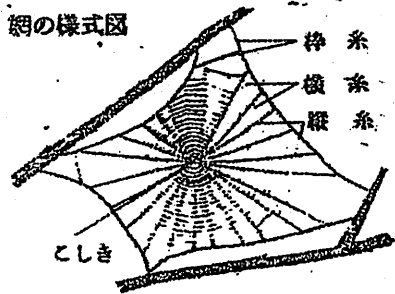
このクモは、地上0.5~1m程の高さの草木の間などに直径30cm程の円網を張ります。体長は20mm程です。頭胸部は、銀白色の細かい毛でおおわれ、腹部は黄、黒、銀の3色からなる虎模様のきれいなクモです。網の中央には、縦に白色のかくれ帯をつけ、外敵が近づくと網をゆする性質があります。10月末頃になると水がめのような形の褐色の卵のうを作ります。

(解説・松浦裕司/図・梅林 力)

—おニグモ—



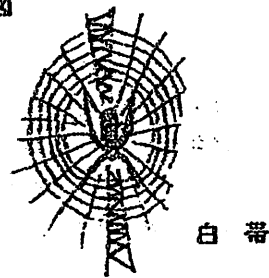
網の様式図



—ナガコガネグモ—



白帯様式図

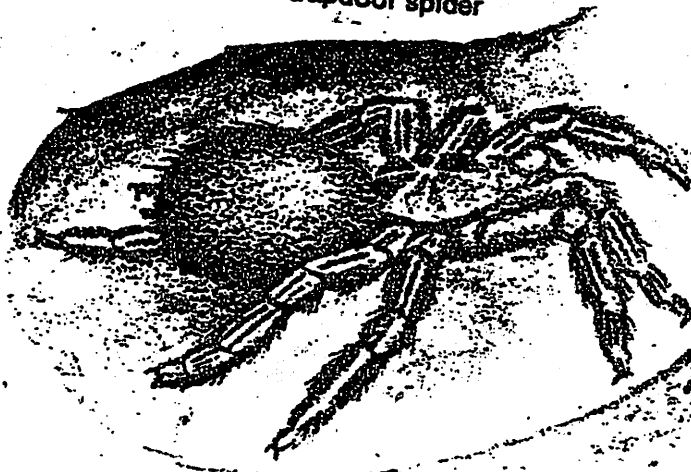


すきいめの街と自然 第3号

訂正、通信NO.49の住変の所に書かれています。

根本氏の住所を次の通りに直してください。〒107-1787-387-2 → 387-21 訂正しておおびを申し上げます。

trapdoor spider



あし松木より  
F.I



# 会計報告

会費受領報告 8月8日現在 (敬称略)

59年度

高田勝, 馬場武彦

60年度

石野辰天, 鶴原啓一, 浜口哲一, 村田慎一, 菅波洋平  
小林健一, 吉倉真, 中平清, 小沢實樹, 松本誠治,  
馬場武彦, 高野ツヤ子

61年度

須賀環文

口座番号 横浜0-1460

会費についてのお問い合わせ、御質問等は

〒226 横浜市緑区池辺町2947 井上房根 045(941)2121  
または

〒211 川崎市幸区小倉1061 小池歌子 044(588)5422



# クモの標本同定勉強会

日： 9月8日(日) PM 1:00 ~

場所： 杏林大学生物学実験室 三層 杏林大行きバス 75-3040 杏林大学

杏林大学までの地図は、別紙を御覧下さい。

くわしくは、事務局 松浦まで 03(392)9962 P.M. 9:30以降



## 落語「蜘蛛駕籠」

現代に於きましての主要なリモノとしては、車があびられるとよいです。その他には、電車、飛行機、船などもあびることがあります。

江戸におきましては、やはり、「ガゴ」があびられるとよいです。「ガゴ」にも、いろいろございまして、今のタクシーのやうなものを「つじガゴ」、今のバイクのものを「やどガゴ」とよんでいたそうです。さらに、街道に、狐をよび、お客をしょつがまえていたのを「くもガゴ」とよんでいたそうです。

この落語のあらは、みとのせていたガゴの危がぬけ、いかに、お客をよび、ガゴ屋といふにやどをよびたの事です。そのガゴをみていた、ある子供が、おどろきに「あのガゴがガゴは何」とおどろきに「あれが、何とてくもガゴだ」といふことになりました。

### 事務局より

通信およびEISHIDAIAの原稿を募集しております。

10月13日(日) 採集観察会終了後運営委員会を行ないます。運営委員会は公開してありますので、どうぞふるって御参加下さい。くわしくは事務局まで。

事務局の住所が変更しましたので御注意下さい。

### 事務局

松浦祐司 03(392)9962  
〒167 杉並区板橋3-7-6-207

### 編集

嶋田順一 04297(3)3022  
〒357 飯能市本町5-4

### 通信編集

鈴木勝浩 0489(91)2989  
〒34301 北葛飾郡松伏町松伏3-385

### 通信51号

編集：鈴木勝浩  
代行：井上彦枝

東京蜘蛛談話会 9月15日発行